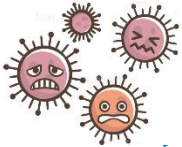




スマイル SMILE



1学期も最後の月になりました。子どもたちは学校生活に慣れ、仲よく友だちと生活しています。高温への規制も弱まり、35℃以下の時は屋外で活動や遊ぶことが可能になりました。小学部では屋外で活動するときには帽子をかぶるように声をかけています。学校用の帽子が1つあると休み時間にも対応できます。赤白帽でも大丈夫です。お子さんと相談して、御準備ください。よろしくお願いします。



感染症を予防しよう！



感染症というとコロナウイルスと思う人も多いですが、感染症には多種多様な病気があります。暑い時期にかかりやすい病気や東南アジアで気をつけたい病気などをお知らせします。

本校ではこの1学期に水ぼうそう（水痘、チキンポックス）のり患者が例年より多くみられました。また、大使館からお知らせがあったようにデング熱がマレーシアで例年より多く見られています。暑い国でかかりやすい感染症を紹介します。

咽頭結膜熱(プール熱)

症状：38℃以上の発熱・のどが赤くなる（白い膿がつく時も）・目が赤くなる。

- ★可能性がある時は受診して、主治医に診断してもらってください。
- ★学校は出席停止になります。登校の時に登校許可届を提出してください。水泳に参加可能かも併せて主治医に確認していただけると助かります。
- * プールを介して感染することが多いので、通称プール熱とも呼ばれます。年間を通じて水泳指導を行う本校では注意が必要です。

学校では水質管理・健康観察など予防に力を入れています。



とびひ（伝染性膿痂疹）

虫さされやあせものところをかきこわした傷からばい菌が入り、とびひになります。

症状：かゆみの強い水疱・膿疱ができます。中の液が他の皮膚につくと感染して増えます。

- ★皮膚科や小児科で専用の薬をもらって治りが早いです。
- ★登校はできますが、感染力が強いのでISに参加可能かどうか必ず主治医に御相談ください。

流行性角結膜炎(はやり目)

目の充血や目やにと共に、目の痛みや光を見たときのまぶしさを訴える時は要注意です。眼科を受診しましょう。接触感染なので、手洗いをしっかりとすること、タオルなどの共用をしないことが大切です。

- ★登校、ISに参加可能かどうか必ず主治医に御相談ください。



頭じらみ

定期的にお子さんの髪の毛の様子を観察をしてください。耳の後ろあたりの内側の髪の毛に、白い小さな卵がつきやすいです。ほとんど無症状ですが、かゆみを訴えることも時々あります。

- ★登校は可能ですが、ISは治療が終わるまで参加を控えてください。御理解、御協力をお願いします。また、気づいたときには、学校に連絡をお願いします。学校では帽子やタオルの共用をしないように指導しています。



デング熱



デング熱は罹患する可能性が高い熱帯病で、特にマレーシアでは11～3月の雨季に流行します。今年度はすでに前年度よりも増加傾向にあると保健省からも報告がありました。

(1)感染源

- ・『デング熱ウィルス』を持つ蚊（ネッタイシマカ、ヒトスジシマカなど）に刺されることで感染します。
- ・感染には蚊が必ず媒介し、人から人への直接感染はありません。

(2)症状

- ・蚊に刺されてから、通常5～6日間の潜伏期間を経て、突然の発熱で始まります。
- ・38～40℃程度の熱が5～7日間続き、激しい頭痛、眼窩痛、関節痛、筋肉痛、発疹を伴います。
- ・発疹は風疹と同じような小さな紅斑で、かゆみや痛みはありません。
- ・あまり見られませんが、歯ぐきからの出血や血尿が見られた場合は危険な状況です。

↓

突然の高熱や頭痛、関節痛や筋肉痛、発疹などがあらわれた場合には、直ちに医師の診断を受けましょう。

(3)治療方法

- ・デング熱には特効薬がなく、一般には対症療法がおこなわれます。
- ・特別な治療を行わなくても軽症で済む場合が多く、死亡率は1%以下であると言われています。
- ・出血傾向が増悪するアスピリン系の解熱剤は使用しません。医師の指示を確認してください。

(4)予防方法

- ・デング熱には予防注射も予防薬もなく、蚊に刺されないようにすることが唯一の予防方法です。
- ・媒介する蚊は、古タイヤなどのわずかな水たまりでも繁殖するため、都市部でも多く見られます。長袖シャツや長ズボンを着用する、肌が露出する部分には防虫スプレーするなど対応してください。

(5)その他

- ・状況に応じ、保健だよりなどで地域の感染状況をお知らせします。
- ・デング熱の診断を受けた場合は学校までお知らせ下さい。**出席停止となります。**
- ・御質問や御不明な点などがございましたら、保健室までお問い合わせください。
- ・マレーシア日本大使館の情報「マレーシアにおけるデング熱の感染増加」

https://www.penang.my.emb-japan.go.jp/itpr_ja/11_000001_00719.html



水ぼうそう（水痘）

発疹が顔や頭部にあらわれ、やがて全身に広がります。発疹は小さな赤い丘疹から始まり、水泡（水ぶくれ）となり、最後はかさぶたになります。かゆみが強いのでかき壊さないように気をつけましょう。各段階の発疹が同じ時期にあるのが特徴です。**すべての発疹がかさぶたになるまで、出席停止になります。**登校再開に関しては、医師の診断を仰いでください。
★帯状疱疹と水痘は同じウイルスが原因で起こります。

インフルエンザ

(1) 症状

突然の高熱、関節痛、筋肉痛などが起こることも多いです。だるさ、のどの痛み、咳、鼻水などもあります。かぜとの違いは症状が急激に表れることです。

(2) 診断と治療

病院で迅速検査キットを使って診断することができます。発熱から 12-24 時間後でない正確な診断ができないので気をつけましょう。

治療の基本は、安静にし、しっかりと睡眠をとることです。また、高熱による脱水を防ぐために十分な水分補給も大切です。抗インフルエンザ薬の使用も医師の判断で行われることもあります。症状が出てから 48 時間以内に開始しないと効果が少ないです。

(3) 出席停止期間

	発症当日	発症後、最低5日間は登校不可					6日目	7日目
		1日目	2日目	3日目	4日目	5日目		
〈例1〉 発症2日目に解熱	発熱	発熱	解熱	解熱後1日目	解熱後2日目	発症後5日以内登校不可	登校可能	
〈例2〉 発症4日目に解熱	発熱	発熱	発熱	発熱	解熱	解熱後1日目		

解熱した後2日

日数の取り扱い：解熱した翌日から起算。解熱した日は含まない。

左記のように、

○発熱日の翌日から最低5日間

○解熱した日の翌日から2日間

が出席停止期間です。両方の条件を満たしていないと登校再開できません。

又は医師からの登校許可をもらってください



健康診断の結果について

7月の中旬に 全ての結果を記載した「健康診断結果のお知らせ」を配布します。御家庭で健康状態をお子さんと一緒に見ていただければと思います。

要経過観察、要治療の場合は、受診後に「結果のお知らせ」を配布しました。

夏休みを利用して受診、相談、治療などを行っていただくようお願いいたします。受診後は切り取り線以下を御記入の上、学校に提出してください。

昨年度より「健康診断結果のお知らせ」は学校保管をしていないので、各御家庭で保管のほどよろしくお願ひします。

